

次は誰が跡を継ぐのか？

https://www.lapprenti.com/articles/article_auto.asp?news_id=1342&one=1

職人仕事のテレビ・ドキュメント、情熱は仕事の現場にある

この職人、職人仕事、そのやり方の後継は誰が継ぐのでしょうか？ 競争している応募者はフランス3 (地域を重視したテレビチャンネル)を説得する必要があります。

「その人々は家具職人、菓子屋、弦楽器製作者、製陶業者、手作りチーズ業者あるいはガラス職人です。女性も男性も共通点があります。すべての人はその知識を伝承したいと情熱のある職人です。これらの6つの専門職は、職人仕事に身を投じるために意欲と技術をもっている応募者に会うことになるでしょう。これらの応募者はつぎつぎと、その分野での意欲とテストによって判断されるようになるでしょう。」

それはフランス3が放送した番組「誰が引き継ぐのか」のプロローグともに、その調子とやり方が«L'Amour est dans le pré (草原の愛)» の歌、M6 の出会いの放送と非常によく似ています。

フランス3は全力を尽くす

放送は良くできていて、もっとも優れたブラジルの小説のふさわしい撮影の技術を用いていて心地よく視れます。フランス3はテレビドキュメント番組のフランス大企業に向けての順位を保つために最善の努力をしていますが、性と愛ほどには売れないテーマです：職人仕事のなかに仕事を見つけることです。

昨金曜日に初めて放送したときにパツとしない視聴率であった公共放送の勇気ある賭けでした。TF1で同じ時間に‘Koh-Lanta’に当面して、それが理解できる！しかし、それを見ていた人は疑いもなく戻ってくるでしょう。雇用主、職人、志願者の真摯さはまったく疑う余地はありませんし、愚かさはしばしば感動的でときに緊張した変化に入り込むことはありません。

プロを志向しよう

面と向かって雇用主が志願者を評価することは難しいのですが、それは志願者の立場から説得力をもって自己表現することが難しいことではっきりしています。もちろん争点は将来と全生活の資産を賭けている志願者にとって同じでないし、損なう投資と失われる時間のリスクのある職人であることに異議を述べることはできます。しかしながら、この両者が失望することを疑いつつ参加している事実は確かなことであり、情熱が職場にないとするならば、それはテレビ画面にあります。

ここに小作品のテレビドキュメンタリーが役立つのであり、それは単にすっかりメディアによる求人の問題に参加しようとしている志願者のためだけでなく、視聴者が同じ状況に当面するだろう時に有益な着想が得られるでしょう。面接のために十分に準備し、企業にときどきしながら出掛ける前に企業について調べることの重要性を理解します。十分に対応するために、雇用主の必要性を推測し、その動機を理解することです。

ドミニック・デュドガールの教育的な作品「修業教育：若者と企業が望んでいる([L'Harmattan](#))」の講義が勇気づけた「プロ志向」と呼ばれる方法についての称賛、それはイル・ドゥ・フランスの企業で試みられ成功しましたが、このような準備の効果を示しています。

放送はフランス 3 の金曜日 20 時 40 分で継続されており、最後の候補者を選ぶのになお重荷となっている駆け引きとためらいを解くほぐさなければなりません。ツライ、ツライ！

更新日：2018/02/27